

## 1. 意見

21 3月

- 本年は、前年より、生産性の向上が図られ、生産量も増加する傾向にある。また、新規開拓による販路拡大も進んでおり、業績は良好である。
- 研究開発部門では、新技術の開発に注力し、既存製品の改良も実施している。また、人材育成にも力を入れており、社員のモチベーション向上が見られる。
- 市場競争は厳しくなっているが、当社の強みである品質と信頼性を生かして、競争力を保つ方針である。
- 今後は、更なる生産効率化やコスト削減を図り、さらなる業績向上を目指していく。

## 天塩川整備計画に関する意見

下川町[REDACTED]に住み農家を経営しています。昨年は、春の出水と秋の出水により農業に被害を受けました。

ずっとこの地で農業を営んでいます。

昭和23年、この地区に堤防がなかった時代ですが、増水によりサンル川が家に向かって流れ、畠にひどい被害を受けました。昭和25年に馬を使って堤防が造られましたが、今考えると小さな堤防でした。昭和35年に今の堤防と樋門が出来上がったのですが、その後も排水しきれず洪水のたびに幾度も畠に水がつきました。

平成12年には、道道の整備と合わせて排水も整備されましたが、平成13年に一度、そして昨年は今までにない洪水が2度起り、畠に水がつきました。

私の土地が低いことから、サンル川の水位が上がると樋門を閉めなければならず、このような状況になっています。

そのためには、サンルダムがどうしても必要と考えます。ダムによって水位下げることが出来れば、畠に水がつくことはないと思います。秋には施設キヌザヤが収穫できませんでした。この農家の思いをおわかりいただけるでしょうか。

住んでいる人が困っているのです。このような状況を理解していただきたいとともに私は、サンルダムを期待しています。

平成19年2月9日

下川町[REDACTED] 遠藤 直亮 [REDACTED]